

注：指示があるまで開けないで下さい。

総合防犯設備士資格認定試験

第一次試験(筆記方式)

B 専門問題 (選択)	
出題	4 問中 2 問選択
時間	60 分
配点	1 問 100 点・合計 200 点

受験番号	— —
氏名	

注意事項

1. 座席は指定されています。受験番号を確認して着席して下さい。
2. 机の上には「受験票」「筆記用具」以外のものは置かないで下さい。
3. **受験番号・氏名は、はっきりと記入して下さい。**
4. 解答は、設問にしたがって記入して下さい。
5. 選択した設問の上部の空欄に○印を付けてください。**3 問以上選択すると無効になります。**
6. **「試験問題」・「解答用紙」は試験終了後すべて回収します。**
7. 試験時間内に退席される場合は、試験問題・解答用紙を机の上に置き試験官の許可を得て静かに退席して下さい。
ただし、試験開始後30分、および試験終了前10分間は退席できません。
退席後、試験会場近辺では、静かにお願いします。
8. 試験会場においては、試験官の指示にしたがって下さい。



選択する場合は右空欄に○
印を付ける。

B 問題－1（機器関連）

出入管理システムについて、記入例にならって、4種類の認証端末とその特徴を記せ。
特徴については、長所と短所をそれぞれ一つ記すこと。

【解答欄】

番号	認証種類	認証端末	特徴(長所及び短所)
①	本人しか持っていない所有物による認証	スマートフォンによる認証	<ul style="list-style-type: none"> ・機能的に社員証や学生証等の兼用も可能である。 ・認証媒体として、スマートフォンやタブレットが必要となってしまう。
②			<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
③	本人しか知らない情報による認証		<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
④	本人しか持っていない身体的な特徴による認証		<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
⑤			<ul style="list-style-type: none"> ・ ・

選択する場合は右空欄に○ 印を付ける。	
------------------------	--

B 問題－2（防犯設備の施工）

ある工場の G1-1(敷地外周警戒線)に多段式赤外線ビーム検知器を設置して侵入検知をする。

赤外線ビーム検知器を施工するにあたり、完工後の維持管理も念頭において、留意すべき点を解答欄の項目区分に沿って 10 項目以上記せ。

ただし、配線工事は、電気設備工事(別途工事)とし、供給電圧・容量・絶縁抵抗値などは、満足いくものである。フェンスなど構造物の構造は変えない。

<施設・設備の概要および運用条件抜粋>

当該工場は、人口 50 万人都市郊外の山間部に新しく開発された工場・卸団地内に位置する。冬場、降雪は皆無だが、降霜は相当みられる。また一年を通じて相当濃い霧の発生もみられる。夜間、イタチ、狸、鹿、猪など、動物の姿も見かけることが多々ある。

この工場・卸団地には、同規模の分譲敷地が約 100 区画ある。現在稼働中のもの 10 施設、建設中のものが 12 施設あり、生産工場や物流施設の誘致が期待されている。夜間、本団地内の往来は殆ど無いが、暴走行為を繰り返す若者が出現することがままある。

当該工場は、高級食品の加工工場である。食品加工にとどまらず、食材の最先端加工技術、新商品の開発や研究に積極的に取り組んでいる。工場は 24 時間操業しているが、事務・研究部門の勤務時間は、休業日を除き AM9:00~PM6:00 である。

「食の安全安心企業」のイメージを保つため、敷地内外の環境美化には特別な配慮をしている。敷地外部からも構内が見渡せるように、敷地外周には高さ 1.2m の高強度アルミ合金製フェンス(タテ格子ピッチ 15cm)を設けている。構内(緑地部)の植栽は、全て針葉樹で茎径は直径 10~15cm 程度、高さは 3~4m 程度で、GL から 2~2.5m くらいまで枝打ち・剪定をされており、防犯上の視認性確保には配慮している。

G1-1(敷地外周警戒線)での侵入検知は、赤外線ビーム検知器(2 段)を全外周に設けて検知する。また、G1-1 や G1-3 の監視にはモーションディテクタ(VMD)機能搭載の防犯カメラシステムを併設し、不審侵入に対し二重の監視システムをとっている。構内の人や車両の往来等を視るためのコンビネーションカメラも監視システムの補助システムとして稼働させる。

以上

次頁に続く

【解答欄】

①	<u>検知器の配置・位置決めについて</u>
②	<u>設置工事、結線について</u>
③	<u>検知器の光軸調整について</u>
④	<u>降霜、濃霧による誤報対策について</u>
⑤	<u>小動物などによる誤報、侵入対策について</u>
⑥	<u>調整・試験・取り扱い説明について</u>

選択する場合は右空欄に○ 印を付ける。	
------------------------	--

B 問題－3（警備関連）

1. 警備業務の契約前書面交付義務について、「警備業者は、警備業務の依頼者と警備業務を行う契約を締結しようとするときは、当該契約を締結するまでに、内閣府令で定めるところにより、当該契約の概要について記載した書面をその者に交付しなければならない。」としている。契約前書面に記載しなければならない事項の内、機械警備に関する項目を記入例にならって下表の空欄を埋めよ。

【解答欄】

イ	
ロ	
ハ	
ニ	送信機器の維持管理の方法

2. 機械警備業務の基地局に備えるべき法定書類が 6 種類あるが、その内「即応処理カード」について内容を説明せよ。

【解答欄】

--

選択する場合は右空欄に○印を付ける。	
--------------------	--

B 問題－4（設計関連）

出入管理設備は、認識した ID 情報をあらかじめ登録された情報と照合・判定して、電気錠などの制動部(ゲート装置)を制御するものである。

制御機能には、ID 情報を単に登録されているかを照合するだけでなく、認証するために種々の条件を付けることがある。

以下の制御機能について説明せよ。

【解答欄】

制御機能名	説明
アクセス時間制限機能	
連続解錠時間設定機能	
アンチパスバック制御機能	
二人在室制御機能	
インターロック制御機能	